

郡民は自分たちの住みなれた伝来の土地に、金なしでは一步も立ち入れなくなるだろう。観光の伸びにとまなつて、やがて物価はあがるし、俗っぽい都会的な悪習が侵入しやすくなるだけに、島の青少年に及ぼす悪影響も見逃がすことはできない。

観光といえば、すぐ島に金が落ちると思つるのは軽卒のそしりをまぬがれない。その利益を受けるものは、一部の外来者と、町村の財政だけで、美しい自然はこわされ、人情風俗は汚され、それ以外の住民は被害者である場合が、よその例でも案外多いのである。

島の近代化への道

このような産業、経済、観光の面だけでなく、文化の面からの影響も見逃がすことはできない。島が陸続きになると、新聞や新刊書の流入がコンスタントになるし、本土への通勤、通学の便もよくなり、この面から島の青少年は大きな便益をうけるであろう。

島のもつていた、これまでの封鎖性や保守性や文化の伝承性は、交通が便利になるにつれて、開放的、進歩的になつていくし、近代化され、科学的、合理化されたムードと生活が生まれ、又、これまでの本渡、富岡、牛深等のもつていた地方都市の商圏も、熊本という中心商圏の勢力下にやがて統一されていくだろう。

島の近代化を、為政者や郡民が一かたまりになつて、計画的総合的に推進し、五つの橋をして、真に郡民に幸福と繁栄をもたらす動脈とするかしないかは、郡民に課せられた、今後の大きな課題といえよう。

38年度・天草離島振興計画きまる 道路整備に重点

ヘリポートの建設も計画

県ではこのほど、昭和三十八年度の天草離島振興計画をまとめた。これによると、事業は天草架橋にそなえて、島内道路の整備と、港湾、漁港の整備に重点をおくほか、ヘリポート建設、簡易水道拡充、羊角湾地域の開発、集団観光施設の建設などをとりあげている。

総事業費は二十八億六千七百七十五万円で、これは全体計画の事業費二百七十五億二千二百萬円の一〇・四％にあつてゐる。

【道路】 天草架橋の建設と平行して、三角―大矢野―松島―本渡間の二級国道「牛深宇土線」及び一般地方道二路線を改良、六路線を舗装する。

また、中央部の縦貫道路が不備であるので、「福運木今田線」の河浦地区を改良し、離島の道路開発として御所浦村の「本郷大浦線」を改良する。また「富岡西海岸線」を舗装する。事業費四億二千二百萬円。

【港湾】 鬼池、姫戸、中田、与一ヶ浦、柳、本渡、阿村、棚底、樋島、魚貫の十港を改修。事業費三億八千七百萬円。

上津深江と魚貫の二港を局部改良し、海岸保全事業を本渡、高浜、大浦、富岡、大門、柳の六港に実施する。航路標識を四カ所につくる。事業費七千七百萬円。

【空港】 松島町にヘリポート（ヘリコプターの基地）を設ける。事業費三千五百萬円。

【開拓】 干拓事業は大橋、栖本、阿村、戸馳の四地区開拓パイロット事業は御所浦と羊角湾の二地区。羊角湾パイロットの総事業費は二十億三千五百萬円で、三十八年度に調査費三百萬円を予定。

【土地改良】 楠浦の県管かんがい排水事業、栖本村春の団体管かんがい排水事業、戸馳島の干害恒久対策事業、団体管土地改良、海岸保全など総事業費一億五千二百萬円。

【漁港】 修築事業は牛深、二江、崎津、富岡、嵐口、湯島、大多尾、宮田の八港。改修は御領、栖本、樋島、坂瀬川、下桶川、蔵々、佐伊津、本郷の九港を計画。そのほか天草町軍ヶ浦をはじめ十三港の局部改良など事業費四億二千四百萬円。漁港の海岸保全事業費九千七百萬円。また漁礁二十地区、築磯六地区を計画。事業費千八百萬円。

【造林】 再造林三百畝、拡大造林千畝、早成樹造林百畝、せき悪林地改良としてアカシヤ・モリシマの植栽四百畝を計画。事業費九千七百萬円。林道では大作山、久留、古畑、米山の四路線を計画。事業費千四百萬円。その他はげ山復旧、防風林造成、保安林改良を事業費合計五千八百萬円で計画。

【簡易水道】 島内の水道普及率は約三〇％（二万四千戸）にすぎない。三十八年度は大矢野町長砂連、御所浦村唐木崎、栖本村河内、竜ヶ岳町大道に計画。事業費四千万円。

【電気導入】 島内の点灯率は九八％で、電灯のないのは五百五十戸程度に減つたが、三十八年度は松島町教良木河内（十五戸）河浦町白木河内宇土追（十四戸）同新合赤木（十戸）同富津弘浦（七戸）の無灯火戸数を解消する。事業費千八百萬円。

【福祉】 公営住宅を本渡、牛深、栖本に六十五戸建設。病院、し尿処理場、塵芥処理場等の建設を八カ所など事業費二千五百萬円。

【文教】 小中学校の増設と統合、屋内運動場の増築など事業費四億一千三百萬円。

【観光】 松島町の干巖山、富岡、西海岸の観光施設を整備し、松島、下田、峇北には国民宿舎を建設する。事業費一億三千三百萬円。

【その他】 砂防、河川改修、海岸保全、都市計画事業を、それぞれ大きくとりあげている。

天草架橋に期待する



■天草の産業は天草架橋によつて新しい光をみだした……………

夢でない所得増大

島の農業型態から脱却

熊本県農協中央会 天草支所長 江崎学

離島………何だかすべてにとり残されたような感じのする言葉であり、島民もまた、これを宿命だとアキラメに似た感じさえもつていた。

ところが今ここに、天草架橋起工式の運びとなり、四年後には九州本土の一端として、離島から解放されることが約束

されたことは、天草農業、否、天草すべての発展のためまことに喜びにたえない次第です。

架橋の完成で最も大きく影響され、最も大きく変わるのは農業であり、農家所得の増大が、ひいては天草の経済、文化の進展の上に大きな原動力となることではない。

天草はこれまでも「離島振興法」の適用で、めざましく発展してきたといふものの、離島なるが故に、輸送不便なるが故に、依然として島の農業型態からなかなか脱却できなかったわけだ。では架橋が完成したら、天草の農業はどう変つていくでしょうか。

まず自然的気象条件をいかした暖地蔬菜園芸の飛躍的發展が挙げられます。技術の研究と相まつて、生産コストの引き下げを図れば、遠からず他の産地をしのぐ特産地がうまれることと信じます。又、島全体がみかんの最適地としての条件を備えており「農基法」の制定にともなう成長部門として、現在のみかん増植熱は全く驚異的であり、集団栽培、団地造成と相まつて、集荷場の完備、架橋による輸送のスピード化は、ますますみかんをはじめとする果樹栽培に拍車をかけ、やがては、みかんの島、として、観光と結んでますますその成果を発揮することでしょう。

しかしながら、これらはいずれも生産販売機構の整備強化によつて、はじめてその効果は存分に発揮されるものです。だから、今こそ農協の合併と機構の整備をいそがなければならぬと痛感するわけです。

新鮮な魚を皆さんに

トラックで市場へ直行

天草地区漁協長協議会 徳永忠明

天草島民二十三万が待望久しかった天草架橋の起工式が、去る七月三日高松宮様のご臨席を得て挙行されたことは、島民の心からの喜びです。

天草架橋が完成すれば、あらゆる面で大きな効果があることは衆知のとおりですが、特に私たちの水産業にとつても、非常に大きな経済効果があり、漁協組合員の喜びと期待はひとしおです。



(江崎学氏)